

品質保証研究会 第20回通常総会

開催日：平成22年6月2日（水）

13時00分 開会

開催場所：学士会館（地下鉄神保町駅）

総会／講演 2階 202号室

東京都千代田区神田錦町 3-28 電話 (03)3292-5936

開催スケジュール

1. 議案審議 13:00～13:30

< 議事次第 >

開会宣言

会長挨拶

議長選任

議案審議

・第1号 議案 平成21年度活動報告並びに収支決算案承認の件

・第2号 議案 平成22年度活動計画並びに収支予算案承認の件

・第3号 議案 会則改定の件

・第4号 議案 平成22, 23年度役員選任の件

役員紹介

閉会宣言

2. 定例研究会 第1グループ活動報告 13:30～13:45

3. 定例研究会 第2グループ活動報告 13:45～14:00

4. 特別講演 14:05～15:15

講師：花王（株）生活者コミュニケーション部

部長 大島 昌子氏

演題：『消費財メーカーの相談窓口活動

ー花王ウェイに基づく消費者基点のよきモノづくり・企業活動改善ー』

.....（休憩 10分）.....

5. 特別講演 15:25～16:50

講師：柳田 邦男先生

演題：『専門性と「2.5人称の視点」

ー業務、組織のスレットを埋めるものー』

★ 懇談会 学士会館 3階 302号室

17:00～19:00

以上

品質保証研究会 平成 21 年度活動報告

1. 活動状況

1. 1 平成 21 年度の活動は、第 19 回通常総会で承認された活動計画に基づき展開し、所期の成果を収めることができた。

番号	項 目	内 容		回数
1	通常総会	第 19 回通常総会の開催		1 回
2	品質保証研究会全体活動	会員相互間の啓発	講演会	2 回
			見学会	2 回
3	Q A S G ニュースの発行	会員の活動状況や、品質保証に関する情報交換	第 67 号～70 号	4 回
4	定例研究会活動	グループ毎にテーマを定めての品質保証に関する調査・研究活動と会員への成果提供	第 1 グループ	3 回
			第 2 グループ	6 回

1. 2 平成 21 年度品質保証研究会の活動実績を表 1 に示す。

2. 活動要約

平成 21 年度の活動要約を表 2 に示す。

表1 品質保証研究会 平成21年度活動実績

○・▽：計画
▼：実績

項目			2009年(平成21年)								2010年(平成22年)					
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体 活 動	総会			第19回 6/8(月) ▼経団連会館											第20回 6/2(水) ▽学士会館	
	講演会	計画					○----- (案内発送)	第35回 -----▽		○----- (案内発送)	第36回 -----▽					
		実績							第35回 ▼ 11/10 東大 中尾教授	第36回 ▼ 12/3 早大 棟近教授						
	見学会	計画				○----- (案内発送)	第34回 -----▽			○----- (案内発送)	第35回 -----▽					
		実績					第34回 ▼ 9/16 JAL啓発センター					第35回 ▼ 3/4 日産自動車横浜工場				
	QASG ニュース	計画		○----- (依頼)	○----- (締切)	67号 -----▽ (発行)	○----- (依頼)	○----- (締切)	68号 -----▽ (発行)	○----- (依頼)	○----- (締切)	69号 -----▽ (発行)	○----- (依頼)	○----- (締切)	70号 -----▽ (発行)	
		実績				67号 ▼ (発行)				68号 ▼ (発行)				69号 ▼ (発行)	70号 ▼ (発行)	
第1グループ		計画			▽ (幹事会)		▽ (研究会)			▽ (研究会)			▽ (研究会)			
		実績				8/24▼ (研究会)				12/17▼ (研究会)	1/27▼ (研究会)					
第2グループ		計画			▽ (研究会)			▽ (研究会)		▽ (研究会)		▽ (研究会)				
		実績				8/7▼ (幹事会)	9/28▼ (幹事会)		11/12▼ (幹事会)			2/16▼ (幹事会)	3/24▼ (幹事会)	4/21▼ (幹事会)		
H. P メンテナンス		計画	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	
		実績														
幹事会		計画		第123回 ▽ 幹事会		第124回 ▽ 幹事会		第125回 ▽ 幹事会		第126回 ▽ 幹事会		第127回 ▽ 幹事会	第128回 ▽ 幹事会	第129回 ▽ 幹事会	第130回 ▽ 幹事会	
		実績		6/22 ▼		8/3 ▼		10/22 ▼		12/15 ▼		2/10 ▼	3/26 ▼	4/12 ▼	5/13 ▼	

表2 平成21年度 品質保証研究会 活動要約

番号	項目		日時・場所	参加人員	内容
1	第19回 通常総会		平成21年6月8日(月) 経団連会館 4階401号室	96名 (出席52名、 委任状44 名)	(1) 平成20年度活動報告・会計報告の承認 (2) 平成21年度活動計画・予算案の承認 (3) 会則改定及び顧問選任の承認 特別講演「組織行動の「まずい!!」学—どうして 失敗が繰り返されるのか—」 警察大学校 警察政策研究センター主任教授 樋口晴彦氏
2	講演 会	第35回 講演会	平成21年11月10日(火) TKP 東京駅ビジネスセンタ ー1号館	22名	「失敗学 —失敗知識の活用—」 東京大学大学院工学系研究科教授 中尾政之氏
		第36回 講演会	平成21年12月3日(木) TKP 東京駅丸の内会議室	20名	「医療における質マネジメントシステム—原子力と 何が違うのか—」 早稲田大学理工学術院教授 棟近雅彦氏
3	見学 会	第34回 見学会	平成21年9月16日(水) 東京都大田区羽田空港 日本航空 安全啓発センター	34名	1985年8月12日に発生、520名もの犠牲者を出した JAL123 便墜落事故の教訓を風化させてはならないという思いと、安全運航の重要性を再認識する場として2006年4月に設立された安全啓発センターを見学
		第35回 見学会	平成21年3月4日(木) 神奈川県横浜市神奈川区 日産自動車 横浜工場	17名	世界トップレベルの生産性を誇り、エンジンやサスペンション部品を一貫生産する日産自動車の主力ユニット工場である横浜工場を見学
4	定例 研究会	第1グループ(リーダー: 武田博文 会員)	(1) 研究テーマ 品質保証システム研究 (実効的QMSの構築) (2) 研究の内容 ASME NQA-1の最新版である2008年版の要求事項について調査、2009年 Addendaの要求事項についても追加調査を実施し、要求事項の明確化を行った。この結果をもとに、国内品質保証要求であるISO9001:2008年版及びJEGA4121:2009付属書-1における要求事項との比較検討を実施し、比較表を作成した。	(1) 第1回定例研究会 平成21年8月24日 第2回定例研究会 平成21年12月17日 第3回定例研究会 平成22年1月27日	
		第2グループ(リーダー: 三角竜二 会員)	(1) 研究テーマ エラーマネジメントに関する調査研究 (2) 研究の内容 ①安全を達成するために必要な個人及び組織のあり方として、個人及び組織の能力そして作業者の資質面から検討した。 ②共通要因分析の検討 ・軽微な事故・トラブルの対策を整理、評価することで、共通要因分析としての再発防止対策を策定することの可能性を検討。 ・組織要因が当該組織にどの程度広がっているか調査分析する「拡がり度合いに着目した根本原因分析」について、考え方及び分析手順を纏めた。	(1) 研究幹事会 第1回研究幹事会 平成21年8月7日 第2回研究幹事会 平成21年9月28日 第3回研究幹事会 平成21年11月12日 早稲田大学小松原研究室との共同開催で、エラーマネジメント討論会実施 (Erik Hollnagel 教授、他3件の講演と討議) 第4回研究幹事会 平成22年2月16日 第5回研究幹事会 平成22年3月24日 第6回研究幹事会 平成22年4月21日	
5	QASGニュー スの発行		(1) 第67号 平成21年8月 (2) 第68号 平成21年12月 (3) 第69号 平成22年4月 (4) 第70号 平成22年5月	(1) 第19回通常総会、特別講演会報告、平成21年度第1グループ、第2グループ活動計画等 (2) 第34回見学会報告、第35回講演会報告、定例研究会中間報告(第1グループ)等 (3) 第36回講演会報告、定例研究会中間報告(第2グループ)等 (4) 巻頭言、第35回講演会報告等	
6	幹事会		上記諸活動の計画・推進または支援のため、必要な都度、幹事会を開催した。 (幹事会: 第123回～第130回計8回開催)		

第1号議案－2－1

品質保証研究会・平成21年度収支計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

収入の部

単位: (円)

貸方科目	計	予算額
会費収入	900,000	1,000,000
講演会参加費収入	137,000	200,000
見学会参加費収入	57,000	80,000
その他収入	0	
利息収入	640	
収入計	1,094,640	1,280,000

支出の部

借方科目	計
会議費	580,013
印刷費	295,300
諸謝金	190,000
旅費交通費	6,000
通信運搬費	98,390
図書資料費	900
消耗品費	16,800
雑費	15,685
支出計	1,203,088
収支差額	-108,448
合計	1,094,640

事業項目別支出内訳	支出額	予算額
総会関係	397,136	350,000
定例研究会	373,715	450,000
講演会 2回	229,647	200,000
見学会 2回	9,600	80,000
ホームページ	192,990	200,000
合計	1,203,088	1,280,000

監事

三度邊邦道 

監事

矢作 強 

第1号議案－2－2

品質保証研究会・貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

単位 (円)

資産の部			負債の部		
勘定科目	金額	備考	勘定科目	金額	備考
流動資産			流動負債		
現金	1,296		未払金	0	
銀行口座	1,359,521				
郵便振替口座	10,650		流動負債合計	0	
流動資産合計	1,371,467		負債合計	0	
			正味財産の部		
固定資産	0		勘定科目	金額	備考
			繰越金		
			前期繰越金	1,479,915	
			当期収支差額	-108,448	
固定資産合計	0		繰越金合計	1,371,467	次期繰越金
資産合計	1,371,467		正味財産合計	1,371,467	
合計	1,371,467		合計	1,371,467	

品質保証研究会 平成22年度活動計画

1. 活動方針

活動成果のなお一層の充実とその活用を図るため、以下の活動を実施する。

- ・ 全会員対象の講演会、見学会を計画し、会員相互の啓発を図る。
- ・ 定例研究会活動として、第1、第2の各グループのテーマに基づく、輪読、講義、購読、見学等の活動を一層活発化すると共に、その活動成果を取り纏めて、会員の活用に供するように努める。
- ・ 会員間の情報交換、コミュニケーションの場の提供を図るため、QASG ニュースを発行すると共に、ホームページの有効活用を図る。
- ・ 20周年記念事業の計画と実行。

以上の方針に基づき、平成22年度の具体的な推進計画を以下に示すと共に、全体の活動計画(補足)を表1に示す。

2. 活動計画内容

平成22年度活動計画の主要項目を以下に示す。

2. 1 総会

- ・ 第20回通常総会
- ・ 総会終了後、20周年記念事業の一環として、2件の特別講演会を開催する。

演題：「消費財メーカーの相談窓口活動－花王ウェイに基づく消費者基点のよきモノづくり・企業活動改善－」/講師：大島 昌子氏（花王（株））

演題：「専門性と「2.5人称の視点」－業務、組織のスレットを埋めるもの－」
/講師：柳田 邦男氏

2. 2 講演会の開催

上期(平成22年10月)、下期(平成23年1月) 2回の講演会を予定する。

2. 3 見学会の開催

上期(平成22年9月)、下期(平成23年2月) 2回の見学会を予定する。

2. 4 「QASG ニュース」の発行

年度内(平成22年8月, 11月、平成23年2月, 5月)4回のQASG ニュース発行を予定する。

2. 5 20周年記念事業

幹事会にて、事業内容を協議し、年度内に完遂させる。

2. 6 定例研究会活動

(1) 第1グループ(リーダー：武田幹事)

研究テーマ：品質システムの研究「実効的QMSの構築」

研究の進め方：平成20,21年度研究の継続推進

海外の品質保証要求規格として調査したASME NQA-1-2008の要求事項をもとに、これに準じた品質マネジメントシステムと国内ISO9000シリーズやJEAC4111等に準じた品質マネジメントシステムとの比較検討を行い、効果的な品質保証要求事項について研究したので、この実効性について、更に研究を深める。

(2) 第2グループ(リーダー：三角幹事)

研究テーマ：安全を達成するため必要な個人及び組織のあり方の検討

研究の進め方：安全を達成するため必要な個人、組織の能力について調査、検討する。更に高信頼性組織、レジリアンスエンジニアリング等が提案する能力との整合性を考察し、安全を達成するための個人及び組織のあり方を検討する。

表1 品質保証研究会 平成22年度活動計画(補足)

○・▽：計画

項目			2010年(平成22年)								2011年(平成23年)					
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体 活 動	総会			第20回 6/2(水) ▽学士会館											第21回 ▽	
	講演会	計画					○----- (案内発送)	第37回 ▽		○----- (案内発送)	第38回 ▽					
	見学会	計画				○----- (案内発送)	第36回 ▽				○----- (案内発送)	第37回 ▽				
	QASG ニュース	計画		○----- (依頼)	○----- (締切)	71号 ▽ (発行)	○----- (依頼)	○----- (締切)	72号 ▽ (発行)	○----- (依頼)	○----- (締切)	73号 ▽ (発行)	○----- (依頼)	○----- (締切)	74号 ▽ (発行)	
第1グループ		計画			▽ (幹事会)		▽ (研究会)			▽ (研究会)				▽ (研究会)		
第2グループ		計画				▽ (研究会)		▽ (研究会)			▽ (研究会)			▽ (研究会)		
幹事会 (20周年記念事業)		計画		第131回 ▽		第132回 ▽		第133回 ▽		第134回 ▽		第135回 ▽		第136回 ▽		

第2号議案－2

品質保証研究会・平成22年度収支予算案

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

単位 (円)

収入の部	金額		前年度予算額
会費収入	950,000		1,000,000
講演会参加費収入	200,000	2 回分	200,000 2 回分
見学会参加費収入	80,000	2 回分	80,000 2 回分
収入計	1,230,000		1,280,000
前期繰越金	1,371,467		
合計	2,601,467		

支出の部	金額		前年度予算額
総会関係	400,000		350,000
定例研究会	450,000		450,000
講演会	200,000	2 回分	200,000 2 回分
見学会	80,000	2 回分	80,000 2 回分
ホームページ	200,000		200,000
20周年記念事業	700,000		
支出計	2,030,000		1,280,000
予備費	571,467		
合計	2,601,467		

第3号議案

品質保証研究会 会則の改定について

当会会則について、下記の改定を提案致します。

[提案理由]

本会の所在地ビル名が新橋富士ビルからヒューリック新橋ビルに改称されました。
これに伴って、改定内容の通り会則を改定することを提案します。

[改定内容]

1. (所在地) 第2条を一部改定し、以下とする。

『本会の所在地は、〒105-0004 東京都港区新橋 2-1-3 ヒューリック新橋ビル とする。』

2. 付則

『本会則は、改定した日から施行し、平成22年4月1日から適用する。』

以 上

品質保証研究会 平成22・23年度 役員候補

会 長 関村 直人 0001 セキムラ ナオ (東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻・教授)

副会長 田中 朗雄 0118 タカ アキ (株式会社 東芝)

副会長 石橋 邦夫 0214 イハシ クニオ (株式会社 日立製作所)

副会長 神田 誠 0225 カンダ マコト (三菱重工業 株式会社)

幹 事 石川 厚史 0042 イシカワ アツシ (新日本製鐵 株式会社)

幹 事 三角 竜二 0072 ミスミ リュウジ (三菱重工業 株式会社)

幹 事 奈良 順一 0119 ナラ ジュンイチ (東京電力 株式会社)

幹 事 武田 博文 0128 タケダ ヒロフミ (株式会社 東芝)

幹 事 中村 誠 0178 ナカムラ マコト (清水建設 株式会社)

幹 事 今村 敬 0212 イマムラ ケイ (三菱重工業 株式会社)

幹 事 荒添 雅俊 0222 アラソエ マサトシ (株式会社 日立製作所)

幹 事 岡澤 需 0226 オカザリ モトム

監 事 矢作 強 0029 ヤハキ ツシ (株式会社 東芝)

監 事 渡邊 邦道 0084 ワタナベ クニミチ (東京電力 株式会社)

以上